

校長だより

★考えるコーナー設置(人間は考える葦である)

先日全校集会で説明した通り、「考えるコーナー」を設置します。この紙面をお借りして前よりも詳しく説明します。

みなさんは、パスカルという人を知っていますか？フランス人の物理学者で10歳で多角形の内角の和を計算する式を自ら思いつくほどの天才で、もしかしたら、理科の授業で「パスカルの原理」ということで習ったことがあるかもしれません。科学者と同時に、哲学者であり、思想家、数学者、キリスト教神学者、発明家、実業家というように多方面に才能を発揮したすごい人です。

そのパスカルさんは「人間は考える葦(あし)である」という有名な言葉を残しました。これはどういう意味かという、一人ひとりの人間は葦のようにか弱い存在である。しかし、そのか弱さを「考える力」によって克服することが出来ているという意味です。

そこで、そのパスカルさんにあやかってここに考えるコーナーを作りました。いろいろな種類の本を並べますので、休み時間に読んでみてください。貸し出しを希望する人は、校長室まで連絡してください。一週間までなら貸し出し可能です。

葦・・・湖や川などの水辺に自生する長い植物です。長さは5メートルを超えるものもありますが茎の中はストローのように空洞で大変軽い植物です。よしずなどに利用されています。葦というのは悪しにつながる響きなのでよしと読む場合もあります。

現在、設置予定の書籍

- ★なぜ僕らは働くのか 池上彰
- ★僕らの未来が変わる お金と生き方の教室 池上彰
- ★それ数学で証明できます 北川郁馬
- ★映画を旅する365日 物語のある風景 パイインターナショナル
- ★君たちはどう生きるか 原作 吉野源三郎
- ★友だちってなんだろう？ 齊藤孝
- ★いのちのバトンをつなぎたい ワールドビジョンジャパン
- ★これを英語で言えるかな？ コアラの学校
- ★しごとへの道 鈴木のりたけ
- ★CHAT GPT 古川渉一
- ★新しい防災の基本事典 朝日新聞出版
- ★一日一問解くだけで脳がぐんぐん冴えてくる ドクターズドリル 石井久
- ★「うまく相談できない自分」にサヨナラする本 神戸正博

題名を聞くと難しく感じるかもしれませんが、マンガが間に挟まっていたり、きれいな写真があったり、楽しいクイズがあったり(本への書き込みは禁止)と、意外と手に取りやすい本が多いと思うので、是非読んでみてください。随時本を増やす予定です。



アラブの風に吹かれて

前回お知らせしましたが、私はアラブ首長国連邦(UAE)のアブダビ日本人学校に3年間勤務していました。当時、新婚旅行でヨーロッパ旅行をただけで、それ以外に海外経験のなかった私にとっては、この海外生活は驚きと発見と発想の転換の非常に大きな機会でした。そんな経験をみなさんにも共有させていただいて、海外への扉を開ききっかけになってもらえたらなあと考えています。ただし、30年ほど前の経験なので、その後大きく変わっている部分も多くあります。そこはご注意ください。基本的には、毎月のこの紙面でのご紹介になるのですが、もしご希望があれば、ホームページに増刊号として更新することも可能です。文字量が多くなりますがよろしく願います。まずは第一回目として、アラブの気候に関してお話しします。(「長い文章を読む力」を伸ばす目的もあります。)

アラブの気候を一言でいうと、「暑い」です。年間の4分の3ほどが30℃を超える気温で、私の記憶では、都市部では40℃を超える日が3か月ぐらい続き、最高では45℃だった記憶があります。砂漠に入ると、50℃・60℃という気温になるようです。スクールバスを見送るために屋外で10分程度立っているだけでくらくたとなります。

そのため、エアコンの普及はある意味日本以上です。日本人学校の場合は、トイレにもエアコン。体育館にもエアコンがありました。昨年サッカーワールドカップカタール大会でスタジアムに冷房が入るというすごいことがありましたが、カタールとUAEは隣同士の国でほぼ同じ気候なので、スタジアムの冷房の重要性を実感できます。

移動するときは、たとえば、加賀田中学校の門から下足室までの距離でも、日本人の大半はタクシーを利用していました。(タクシー代はかなり安く日本のバス代よりも安いぐらいでした)

体育の授業は、水泳が行われるのですが、一番暑い時期はプールでの水泳すら行いません。水温が上がりすぎて、お風呂のようになり、長く泳いでいると指先がふやけて、湯あたりしてしまう人が出るからです。そのためホテルのプールなどでは、冷水装置があって、水温を冷やしてから、プールに流し込んでいるようです。水泳の授業での教員の大きな役割の一つは、プールサイドに水をまき続けて、子どもの足をやけどから守ることでした。

車に乗る時も、いきなりは乗れません。ハンドルが熱すぎてしばらく窓を開けてエアコンで冷やしてからスタートです。たまに赤ちゃんがきらきら光るシートベルトの金具をさわってやけどをしたりすることもあったようです。また、あまりの暑さに、車のボンネットで、目玉焼きができるのではと実験したことがありました。完全な目玉焼きにはなりませんでしたが、半熟程度にはなりました。

家族旅行で長く家を空けるときの大変でした。日本人の多くはフラットと呼ばれる日本というマンション(マンションは和製英語です。外国人には伝わりません。)に住んでいたのですが、旅行に行くときは、必ず、エアコンをつけたまま行くようにしないとイケません。でないと、旅行に行っている一室だけが高温になり部屋の立て付けがゆがみドアが開かなくなったりするからです。

水道の蛇口は、赤いのと青いのがありますが、赤い方をひねった方がぬるいお湯が出て、青い方が水道管内で水が日光に熱せられて熱いお湯となって出ることもあります。

雨は、年間でいうと10日ほどしか降りません。アブダビは「今日も快晴・明日も快晴」です。

私は、気温は高いけれど乾燥地帯だし湿度は低く意外と過ごしやすいのかもと思っていました。しかし、実際は海に近いせいかもしれないが湿度が高く、不快指数は見たこともない数字でした。(同じ乾燥地帯でもサウジアラビアのリヤドなどの町は大陸のど真ん中にあり海から遠いので湿度はほぼ0%のようです)アブダビではあまりに湿度が高いので、エアコンの効いた部屋から窓を見ると、雨も降っていないのに結露で雨のように窓ガラスに水が伝います。また、メガネの人はエアコンのきいた室内から外に出ると一度に曇ることが多いようです。

ということで、ドバイなどに今後旅行に行かれる方は、暑さ対策で半そでで行かれると思いますが、日差しを避ける意味で薄い長そでも必需品ですので気を付けてください